

## ブラックダイヤモンド

## クランボン取扱説明書

※本製品を使用される前に必ずこの取り扱い説明書をお読み下さい。

## Types of Crampons

**クランボンの種類**

- ストラップモデル**：プラスチック製のペイル(締め具)を前後に備えたモデル。ブーツのコバの有無を問わず取り付けできます。
- クリップモデル**：前側にプラスチック製トーペイルを、後る側にヒールレバーと金属製ヒールペイルを備えたモデル。踵に充分なコバの張り出しがあるブーツに取り付けできます。
- ステップイン/プロモデル**：前側に金属製トーペイルを、後る側にヒールレバーと金属製ヒールペイルを備えたモデル。前後に充分なコバの張り出しのあるブーツに取り付けできます。

- ご自分のブーツにそのクランボンを取り付けできることを確認してから、実際に使用して下さい。クリップモデルとステップインモデルを取り付けるには、ブーツが硬いナイロン、スチール、カーボンファイバー製のミッドソールを使っている必要があります。ストラップモデルは、よりソフトなミッドソールを使ったブーツにも取り付けできます。ミッドソールの剛性が十分でないと、ブーツがしなりすぎてクランボンのペイルが外れてしまう可能性があります。
- ご自分のブーツサイズに合うクランボンを選択して下さい。バイオニッククランボンにはS/M、M/Lの2サイズがあり、S/MがU.Sメンズ#5〜#10に、M/Lが#7〜#13に対応します。(このサイジングは目安であり、ブーツのモデルやサイズによっては取り付けできない場合もあります。)コンタクトクランボンとセイバートゥースクランボンは、ワンサイズでU.Sメンズ#4.5〜#12までカバーします。この取扱説明書に従って調整してもクランボンがフィットしない場合、そのブーツには使用しないで下さい。ブーツにフィットしないクランボンを使用するのは大変危険です。
- 10本爪モデルは、一般的な縦走登山向けに設計されています。12本爪モデルやフロントポイント交換型のモデルは、急峻なアイス、アルパイン、ミックスクライミング向けに設計されています。用途に適したクランボンを選び、そのモデルに対応した説明文をお読み下さい。

#### Sizing Crampons

クランボンのフィッティング

#### Right and Left

**左右の確認**

センターストラップ(クランボンの前後を繋ぐレール)には、左右を表す足のマークが刻印されています。またステップインモデルや、アンクルストラップがヒールレバーに縫い込まれているモデルでは、ストラップのバックル位置で左右の判別ができます。バックルは必ず足の外側に位置しますので、バックルが左側にあるのが左足用、右側にあるのが右足用です。

#### Length and Bail adjustment

**クランボンの長さとおーペイル位置の調整**

- クランボンの長さ調整は、アジャストメントクリップを引き上げ、リアレールをセンターストラップ上で前後にスライドさせて行います。ボルトオンモデルの長さ調整は別項をご覧ください。
- ストラップモデルとクリップモデルでは、まずプラスチック製トーペイルをブーツの爪先を覆うようにセットして下さい。
- ステップインモデルでは、金属製トーペイルをブーツ爪先のコバにセットして下さい。**注意**：ブーツのコバの形状は規格化されていないので、しっかりセットするためにトーペイルを軽く叩く必要があるかもしれません。
- ステップインモデルの場合、トーペイルの取り付け穴が前後2箇所あり、フロントポイントの突き出し量を2-3cm程度調整できます。前の穴に取り付けると突き出し量が少なく、後るの穴にセットすると突き出し量が多くなります。フィッティングを行った後にトーペイルの取り付け位置を変えた時は、フィッティングをやり直して下さい。トーペイルの取り付け位置が変わるとフィットが変わってしまうからです。
- リアレールをブーツのかかとにセットし、センターストラップ上をスライドさせてどの穴に固定するか決めて下さい。ストラップモデルの場合、ブーツの踵とリアレールの後端が一致するのが理想的です。クリップモデル、ステップインモデルの場合、クランボンの長さがブーツ長よりわずかに短くなるようにして下さい。これによりヒールレバーを固定した時に、ブーツを前に押し出す力が働き、よりフィット感が向上します。
- ※リアレール後方に、クランボンのずれを防ぐ2つの突起があります。突起とブーツの間には少し隙間ができますが、これは正常な状態です。
- クランボンの長さを決めたら、アジャストメントクリップのピンを落として固定して下さい。

### Front Point Adjustment

**フロントポイントの調整**

- この章ではフロントポイントを交換できるモデルについて説明します。まず前章に従って、トーペイルの突き出し量と、クランボンの長さを調整して下さい。フロントポイント交換式モデルでは以下の調整が可能です。
- デュアル(2本爪)もしくはモノ(1本爪)を選択できます。
- フロントポイントの突き出し量を調整できます。
- フロントポイントの位置を左右に調整できます。
- まずデュアル、モノいずれかを選択して下さい。次にフロントポイントの突き出し量を決めて下さい。突き出し量はトーペイルの取り付け位置でも調整できます(前章参照)。最後にフロントポイントの左右位置を決めて下さい。フロントポイントとフロントレールの隙間には、適切なサイズのスペーサーを選んで使います。位置決めができたらボルトをフロントレール、ポイント、スペーサーに通し、ナットでしっかり締めて下さい。フロントポイントがしっかり固定され、がたつかないことが大切です。ポイントに緩みやがたつきがある場合、スペーサーのサイズが適切かをチェックして下さい。
- 注意**：フロントレール、ポイント、スペーサーの隙間からボルトの一部が見えている場合、ポイントはがたついてしまいます。この場合、フロントポイントの調整をやり直して下さい。

#### Strap and Levers

**ストラップの固定(ストラップモデル)**

ストラップモデルの次のステップは、アンクルストラップでクランボンをブーツに固定する作業です。ストラップを足首の前に回してヒールペイル内側のストラップホールに通し、次にトーペイルのストラップホールに通して下さい。最後にヒールペイルのバックルに通し、しっかり締めて下さい。

**ヒールレバーの固定(クリップモデル/ストラップモデル)**

クリップモデル/ステップインモデルの次のステップは、ヒールレバーの固定です。ヒールレバーを踵のコバに押し当て、パチンと音がするまで完全に引き起こして下さい。ヒールペイルの固定強度は、ペイルキーパーによって調整できます。金属製ペイルキーパーを備えたモデルでは、ダイヤルを回すことで固定強度の強弱を調整できます。プラスチック製ペイルキーパーとスペーサーを備えたモデルでは、スペーサーを上下に移動することでハーフサイズ程度の調整が可能です。以上の調整を行ってもヒールレバーをしっかり固定できない場合は、クランボンの長さ調整をやり直して下さい。ヒールレバーの固定強度が弱い場合は、クランボンを短くして下さい。固定強度が強すぎる場合は、クランボンを長くして下さい。

ヒールレバーを固定したら、最後にストラップを締めます。ヒールレバーに縫い込んであるストラップを足首の前に回し、ヒールレバー外側のダブルDリングに通してしっかり締めて下さい。ストラップの余分な長さはカットし、末端を熱処理して下さい。

クランボンを取り付けた後、激しく振ってガタつかないか点検して下さい。最後にクランボンを蹴り込んでガタつかないか点検して下さい。ガタつく場合は再度フィッティングを行い、しっかりと固定し直して下さい。**警告：クランボンを使用している間は、全てのナットが緩んでいないこと、クランボンがしっかりとフィットしていることを常に点検して下さい。**

### Fitting crampon mounting instructions

**スキーツーツへの取り付け方法**

多くのスキーツーツの爪先のコバは、一般の登山靴より長くデザインされています。ストラップモデルとクリップモデルでは、登山靴に取り付ける場合よりフロントポイントの突き出し量が少なくなります。ステップインモデルの場合は、トーペイルの取り付け位置を後るにすることで、フロントポイントの突き出し量を多くすることができます。基本的なフィッティング方法は登山靴と同様です。クリップモデル、ステップインモデルの場合、ヒールレバーはスキービンディングを取り付けるくぼみに固定して下さい。

### Warning

**警告**

- クランボンは、全てのブーツに取り付けられるようにデザインされていません。ストラップモデルは、コバの有無を問わない上、様々なフレックスのブーツに取り付けできるので、最も汎用性の高いモデルです。クリップモデルはミッドソールの硬さが中程度以上で、踵にコバを備えた登山靴に対応します。ステップインモデルは、ミッドソールの硬さが中程度以上で、前後にコバのあるブーツに対応します。クリップモデルとステップインモデルは、ミッドソールが柔らかいブーツには取り付けできません。ボルトオンモデルは、コンペティションブーツ専用に設計され、取り付けできるブーツは限られています。ご自分のブーツに取り付けることができ、ご自分のクライミングスタイルに最適なクランボンをお選び下さい。
- 持ち運びの際は、ポイントをプロテクターで覆うか、収納ケースに収納して持ち運んで下さい。

#### Care and maintenance

**手入れと保管**

- クランボンのポイントは常に鋭く保って下さい。研ぐときはヤスリを使って手で研いで下さい。グラインダーでの研磨は 焼きが戻り金属が弱くなるので行わないで下さい。ポイントを研ぐ以外のいかなる改造もクランボンに加えないで下さい。
- 使用前、使用後にボルト、ナット、調整機構を点検して下さい。ネジ山をなめてしまうので、ボルトやナットを強く締めすぎないで下さい。ひびが入ったり、ネジ山をなめたり、曲がったりしたボルトやナットは交換して下さい。フィールドに出掛ける際には予備のボルト、ナットを携帯して下さい。純正のスペアパーツも販売しております。
- 摂氏マイナス40度以下ではクランボンは脆くなり、ひびが入ったり破損する可能性があります。低温下でクライミングを行う場合はクランボンを頻繁に点検して下さい。
- バッテリー溶液や溶剤に触れないように注意して下さい。
- 多くの消毒液には腐食性の成分が含まれています。クランボンを消毒しなければなりません場合は、クランボンを破棄して下さい。
- クランボンを使用した後は、きれいに洗浄して下さい。汚れがひどい場合は中性洗剤で水洗いし、十分にすすいで下さい。完全に乾燥させてから保管して下さい。錆の発生を防ぐため、全ての金属部品に潤滑剤や防錆剤をスプレーして下さい。

### Retirement

**寿命**

クランボンの寿命は、どのくらいの頻度で何処で使用したかによって決まります。破損や摩耗が無いことを定期的に点検して下さい。クランボンのいずれかの部分にひびが入ったり曲がったり、ひどく摩耗している場合は、使用を止めて破棄して下さい。クランボンを破棄する場合は、再利用されないように破壊して下さい。

### Marking

**マーキングの意味**

- クランボンに記載されているマークには、下記のような意味があります。
- CE**：製品が個人防護具に関する指令(89/686/EEC)の11b条項を満たしていること、またISO9001 認証を受けていることを示しています。認証は下記機関によって行われています。AFAQ -ASCERT International (QUAL/1999/10072a), 116 Avenue Arstide Briand, B.P. 83, F92225 Bagneux Cedex, France . CEN(ヨーロッパ標準化機構)の製品試験に合格していることも示しています。
- BLACK DIAMOND**：本製品の製造メーカー名です。
- ブラックダイヤモンドの新ロゴと旧ロゴ**
- 製造日コード**：3096といった数字が記入されています。これは製品が2003年の96日目に製造されたことを示しています。
- ブラックダイヤモンド社のクランボンはEN893に適合しており、下記機関によって認証されています。CETE APAVA SUDEUROPE, BP193 13322 Marseille Cedex 16, France.

<div style="text-align:center"><b><span>⚠</span> 警告</b></div>
<div style="text-align:center"><b>ここに示した警告を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があります。本製品は登山およびアイスクライミング以外の用途に使用できません。登山およびアイスクライミングは危険を伴う行為で、その行為における行動と決断は本人の責任によるものです。本製品を使用する全ての方は、製品の性能と限界を熟知し、正しく使用するために適切な指導者から技術を学んで下さい。本製品を破棄する場合は、再利用されないように破壊して下さい。</b></div>

ブラックダイヤモンド日本総代理店

## 株式会社ロストアロー

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折1386-6

TEL：049-271-7113(ユーザーサポート)

e-mail：info@lostarrow.co.jp

www.lostarrow.co.jp

REV：04/03